

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

2025-2026年

Rotary District 2640 Japan



ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 大江 久夫 幹事 田中 淳 SAA 榊原 由希子

第 2239 回例会

2025 年 12 月 1 日(月)



19:00～「年次総会」美登利
会計中間報告、次年度役員選挙
お誕生日、結婚記念日のお祝い



1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

「君が代」

3. ロータリーソング

「奉仕の理想」

4. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 34 名

出席義務規定適用免除会員 1 名

出席率 87.18% 前回修正出席率 71.79%

5. 会長スピーチ

会長 大江 久夫 君

みなさんこんばんは。今年も
年末になってまいりました。会長
就任から、半年が過ぎようとし
ています。皆様のお陰で無事に
来られた事を、嬉しく思います。

11月23日(日) 御坊南 RC が
創立 50 周年を迎え、御坊市湯川
町の花御坊で記念式典と祝宴
が行われ、メンバー約 50 人が節目の年をお祝いしま
した。記念式典には、田中幹事と共に出席しました。

今月、お誕生日・ご結婚記念日をお迎える皆様、お
めでとうございます。後ほどお祝いさせていただきます。

11 月は、ボジョレー・ヌーヴォー試飲会や例会日の祭
日が多かった事もあり、11 月 12 日(水)の第 7 回理事会
の報告がまだでしたので、報告させていただきます。

【報告事項】

①社会奉仕活動について

子ども食堂訪問の報告がありまして、海南 9 か所子ど
も食堂訪問致しました。

②国際大会について

来年の 6 月 13 日から開催される国際大会に、海南西
RC が同じツアーで参加することになりました。9 名参
加予定。

12月「疾病予防と治療月間」です

③地区大会について

開催されているので、報告させていただきます。会長・幹事
は 11 月 15 日～16 日の 2 日間参加し、他の方 9 名は 16
日参加しました。

④御坊南 RC の 50 周年記念式典について

11 月 23 日(日)に会長・幹事がお祝いに参りました。

⑤米山奨学生キヨシルさんの訪問日程について

11 月は島への調査の日程と重なり、クラブへの訪問が
できないので、12 月に 2 回参加する予定。

【協議事項】

⑥次年度役員・理事候補について

総会時に役員・理事候補者選挙を行う。

⑦50 周年で演奏して頂いたアビーロードに歌と演奏を お願いしている。後半は、ビンゴを予定。

⑧フィリピンセブ島を直撃した台風 25 号災害義援金に ついて

3000 円×会員数を災害義援金から出し、送金する。

⑨春日神社書初め協賛金 1 万円については、昨年と同 様に協賛する。

本日この後、年次総会において、次年度理事・役員の
信任投票を行います。どうぞ宜しくお願い致します。

6. 幹事報告

幹事 田中 淳 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山西 RC 12月17日(水) 18:30～

年末親睦夜間例会

鰻割烹「心艶～shien～」

那智勝浦 RC 12月4日(木) 13:25～

米山奨学生と中学生との交流例会

12月18日(木) 18:30～

新会員歓迎会・忘年会

「花いろどりの宿 花游」

海南西 RC 12月18日(木) 19:00～

がんこ(六三園)

和歌山 RC 12月23日(火) 17:30～

年末家族会

ダイワロイネットホテル和歌山

和歌山南 RC 12月19日(金)→21日(日)

クリスマス家族例会

ダイワロイネットホテル和歌山

和歌山東 RC 12月11日(木)→12日(金)

クリスマス家族会

ダイワロイネットホテル和歌山

四つのテスト お前はこれにたから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



よいことの
ために
手を取りあおう

事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

○例会休会のお知らせ

和歌山西 RC	12月31日(水)
那智勝浦 RC	12月25日(木)
高野山 RC	12月26日(金)
和歌山南 RC	12月26日(金) 1月2日(金)
和歌山東 RC	12月25日(木)
和歌山 RC	12月30日(火) 1月6日(火)

7. 委員長報告

○国際奉仕委員長

楠部 均 君

11月29日に地区の国際奉仕委員長会議があり、直前委員長の榊原さん、発表のため寺下さん、私と3名が出席しました。



○プログラム委員長

中村 俊之 君

1月の会員卓話は、職業奉仕月間に合わせ、会員の皆様に職業奉仕について、自らの考え方、実践を5分程度例会にて卓話していただく予定となっています。



8. 年次総会

いよいよ本年度も前期が過ぎようとしています。まず、予算の進捗状況を報告致します。また、次年度の役員および理事の選挙を行います。よろしくお願い致します。

【次年度役員】(敬称略)

会長エレクト	前田 克仁
直前会長	大江 久夫
会長ノミニー	千賀 知起
副会長	上田 善計
幹事	奥 喜全
会場監督	岡 洋平
会計	中西 秀文
理事	宇恵 久視
理事	角谷 太基
理事	新垣 直樹
理事	寺下 卓
理事	鳥羽 弘基
理事	中村 俊之



会長エレクト
前田 克仁 君



次年度の理事・役員は満場一致で選出されました。

8. 乾杯

副会長 中西 秀文 君

今年もあと少しです。12月になりました。気温も下がり、寒くなってきます。皆さんのご健康、ご多幸を祈念して、乾杯します。



9. 閉会点鐘

次回例会 第2240回 12月8日(月)
12:30～ 海南商工会議所 4F
IDM 報告



ニコニコ・BOY



Happy birthday!

12月のお祝い



○会員誕生日

14日 宇恵 久視 君	16日 田岡 郁敏 君
17日 寺下 卓 君	

○奥様・旦那様誕生日

11日 的場 千津 様	21日 重光 りえ 様
24日 奥 昌美 様	27日 中西 尚子 様

○結婚記念日お祝い

6日 前田 克仁 君

○一般ニコニコ

角谷 太基 君	沖縄に行きます。
楠部 均 君	川奈ゴルフに行きました。
田岡 郁敏 君	3週間前インフルエンザにかかりました。
山東 剛一 君	口下手なので...
谷脇 良樹 君	股関節手術をしましたが、ゴルフ復帰しました。
土井 元司 君	孫が卒業し、OB 会に大東市に行ってきました。
新垣 直樹 君	ダイエット頑張って、4月から10kg減です。
成川 桂介 君	前田さん次期会長、JCの先輩です。
的場 盛州 君	イオンモール和歌山で門松を置いています。
奥 喜全 君	今年は社会復帰して充実していました。
魚谷 幸司 君	今日は胃カメラ大腸カメラ受けてきました。異常なしでした。
上田 善計 君	80手前で副会長します。前田さんや寺下さんにお世話になったのでやります。会長は無理です。
オカ 昭浩 君	映画「東京タクシー」見てきました。
宇恵 久視 君	1年1回の総会を楽しみにしています。ロータリーに入って良かったと思います。
寺下 卓 君	土曜日、国際奉仕委員長会議行きました。
前田 克仁 君	次年度楽しみながらやりたいと思います。
中村 俊之 君	富山のお客様の所に行こうと思います。
千賀 知起 君	今年は暖かいようです。紅葉も見頃です。
中西 秀文 君	大江年度あと半年気合入れて頑張ってください。
総田さよ志 君	オカさんコンサート誰と行ったんですか。
楠山友加江 君	ディズニーランドに孫と行ってきました。
上野山雅也 君	今日から家内が居ません。

小椋 孝一 君 元ゴールド会員です。正会員に戻ると楽しい。

桑添 剛 君 昨日、昨昨日に飛騨高山に行きました。家内と2人で人力車に乗りました。良い日本酒を買いました。

上中 嗣郎 君 私酒が弱いです。83 才になって 82 才で手を引いたので色々考えられなくなりました。

倉橋 利徳 君 木曜日大阪で大腸検査しました。

岡 洋平 君 私も矢沢永吉が好きです。才力さんに先を越されました。

重光 孝義 君 10 月リソルクラチャン2 回戦で負けました。

前田 誠史 君 おせち料理今年とれません。今年美登利でとります。

山畑 弥生 君 宇恵さんのお父さんにゴルフ始めよと言われて始めました。エチケットを教えられました。

岸 友子 君 久々の夜間例会です。先週金曜日 IDM でたくさん飲みました。

榊原由希子 君 半年 SA しました。思ったより大変でした。

田中 淳 君 あと半年頑張ります。

大江 久夫 君 次年度理事役員の方頑張って下さい。



海南東ロータリークラブの支援活動
11 月 13 日 かえる食堂(中野上)の訪問



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

11 月 13 日 ニコニコ食堂(下津)の訪問



Rotary NEWS

世界中で活躍する「行動人」

【米国】

著名なシェフ、ヴィカス・カンナさんが、サウスウェスト・フロリダ・ロータリークラブ(第 6960 地区)の支援を受けて、子ども



向けの絵本「Festivals at the Bungalow (バンガローでのお祭り)」を制作しました。同クラブは、米国とインドのロータリアン、そのほかの支援者、企業から 2 万ドルを集め、この絵本を 2,000 部印刷し、ロータリーが主導する識字率向上活動に無料で配布しました。夫のモヒト・ポハニさんとともにこのクラブの結成に関わったプリヤ・アフルワリアさんは、「この本は、家族が一緒になって飾りつけをしたり、料理をしたり、お祝いをしたりする様子を紹介しながら、子どもたちをインド全土の旅へと誘います」と話します。「物語とレシピを組み合わせることで、教育的で好奇心をかき立てると同時に、文化を大切にする気持ちを育みます」。8 月 15 日、この本の出版を記念して、ロータリアンたちがカンナさんとともにニューヨークのナスダック株式市場の閉会の鐘を鳴らしました。

セントビンセントおよびグレナディーン



セントビンセント・ロータリークラブは 6 月、フィットネスセンターと協力して健康のためのランニングイベントを実施しました。クラブ会員のキメイシャ・ベイリーさんによると、夕暮れ時、約 500 人の参加者が光る棒を手にも、島の首都キングスタウンのクルーズ船ターミナルから始まる絶景ルート沿いの街路を明るく照らしました。企業や医療機関がスポンサ

ーとなり、家族向けのイベントとして開催されました。「このイベントは、病気の予防と治療に対するクラブの継続的な取り組みの一環です」とベイリーさん。この活動はまた、第7030地区が力を注ぐ健康的な生活習慣の促進と、ビンセント島の会員の積極的な活動継続の奨励につながりました。ベイリーさんは次のように話します。「クラブは、地域を動かすことで啓発と行動を促すことを目指しています」。クラブはまた、家族向けのバーチャル・フィットネス・セッションや栄養に関するウェビナーも実施しました。



皆様のご寄付は、ポリオ根絶活動など世界中のプロジェクトの支援に役立てられます

ロータリー財団への寄付者は、昨年度の募金活動で大きな成果を収め、ロータリーが世界各地で提唱するさまざまなプログラムへの支援を示しました。

2025年までに恒久基金を20億2,500万米ドルに成長させる複数年のキャンペーンは、最終的に目標を2,500万米ドル上回りました。2024-25年度だけで、会員やそのほかの方々からの財団へのご寄付は5億米ドルを超えました。

2024-25年度ロータリー財団管理委員長のマーク・ダニエル・マローニー氏はこう語ります。「目標はインスピレーションとなるものですが、真の目的は“世界でよいこと”をすることです。ロータリーが常にその使命を遂行できるようにすることが重要なのです」

財団は2024-25年度だけで5億6,900万米ドル以上を集め、年間目標を7,000万ドル近く上回りました。寄付者数は478,000人以上、寄付したロータリークラブは約31,000クラブ、ロータークラブは約1,900クラブでした。

これらのご寄付のおかげで、昨年度にはグローバル補助金1,424件、地区補助金468件、災害救援補助金74件を授与できました。さらに、200万米ドルの「大規模プログラム補助金」では、コロンビアでの平和構築と経済的自立の推進を支援します。国際ロータリーはまた、ゲイツ財団との長年のパートナーシップを延長し、世界的なポリオ根絶活動を支援するために3年間で最高4億5,000万米ドルを共同で拠出することを発表しました。

「ロータリーの会員は、“2025年までに20億2,500万ドル”のキャンペーンを支援することで、これらの取り組みへのコミットメントを示してくださいました」と話すマローニー管理委員長は、地区ガバナーが世界各地で実施した数多くの募金行事に特に注目し、次のように述べました。

「ロータリー会員の寛大さには驚かされるばかりです。力を合わせることで、彼らは目標を達成したのです」



異なる国や文化から集まったフェローたちが、イスタンブールのロータリー平和センターで共通の目的に向かって結束

エジプト、ブルガリア、ケニア、ヨルダンなど、何千キロも離れた国々からイスタンブールのパーチェシェヒル大学に集まったロータリー平和フェローの新期生たち。彼らが共通点を見つけるのに時間はかかりませんでした。

「イスラエル出身のフェローと出会って、座って語り合い、議論し、笑いあえる場所なんて、世界のどこにあるでしょう？」と語るのは、現在ドイツ在住のイエメン出身フェロー、スアード・アブドさんです。「意見の違いがあるからこそ、議論が深まり、視野が広がるのです」

アブドさんは、ロータリーが最近開設した平和センター「オットー＆フラン・ウォルター・ロータリー平和センター」の第1期生13名のひとりです。今年2月から1年間の専門的な研修プログラムに参加している彼らは、持続可能な平和、紛争解決、外交の理論と実践を学んでいます。センターで10週間の共同学習を終えた後、それぞれが立案した社会変革イニシアチブを実行するために母国へ戻りました。

フェローたちは出身も背景も多様ですが、優先とすることには共通点があります。子どもたちの保護や女性のエンパワメント、そして最も多いのは移民支援です。武力紛争が身近にあるという現実もまた、彼らに共通する背景であり、イスタンブールでの時間は単なる学問の場ではありません。

「彼らは紛争の多い国、または中東・北アフリカ地域の紛争の影響を受ける国の出身者たちです」と語るのは、センター所長のユクセル・アルペル・エジェヴィット氏。「フェローたちがそれぞれの専門分野で立案するプロジェクトは、平和的な手段による紛争解決にとって非常に重要なものになるでしょう」

「一人の平和フェローだけでは何もできないかもしれませんが、政府や市民団体を巻き込めば、小さな取り組みが大きなムーブメントに育つ可能性があります。彼らは皆、『自分は一人の人間にすぎないけれど、大きな変化の火種になれるかもしれない』と考えているのです」

今回、5人のフェローから、自身の人生、社会変革イニシアチブ、未来への希望について伺いました。

